

稲荷山だより

2026

夏

肺がんの早期発見

「肺がん検診」の勧め

現在、日本人の死亡原因の第一位は悪性新生物、すなわち「がん」となっており、その中で一番多いのが肺がんで、年間7万5千人以上の方が肺がんで亡くなっています。

稲荷山武田病院はホスピスとして、進行した様々ながん患者さんの緩和ケアを行っていますが、その中でも肺がんの患者さんが多くおられます。

肺がんは、早期の段階で発見して、手術などで適切な治療ができれば、完全に治癒することが可能な病気ですが、進行した状態で発見された場合では、なかなか治すことが難しい病気です。肺がんに対する治療は、手術、放射線治療、薬物療法、免疫療法などの進歩により、昔と比べて治療成績はずいぶんと良好になっていますが、依然として、多くの進行肺がんでは完治させることは難しい状況です。

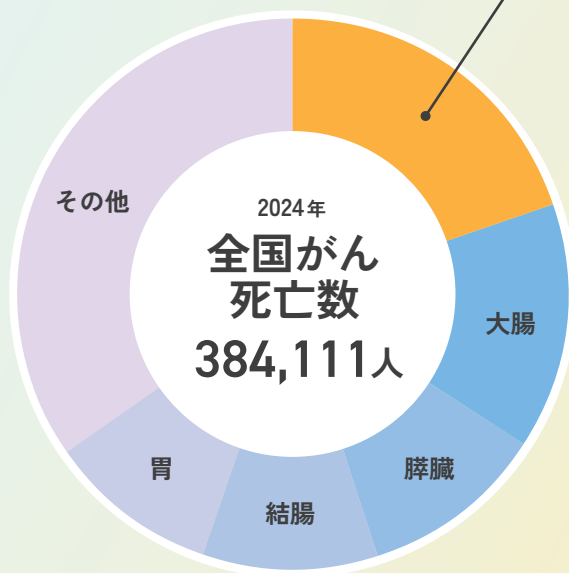
従って、少しでも肺がんで亡くなられる方を減らすためには、何よりも早期発見が重要になります。

肺がんは、初期には自覚症状がないことが多く、早期で発見される方の多くは、検診や人間ドックなどで発見されています。かかりつけ医または職場検診でも良いですが、毎年の検査を受けておられない場合は、京都府の「肺がん検診」の受診をお勧めします。京都府医師会が主導し、市町村単位で実施しています。京都府では、40才以上は無料で(市町村によっては数百円程度の負担あり)、年1回の胸部レントゲン検査での「肺がん検診」が受けられます。受診をご希望の場合は、お住まいの市区町村に問い合わせください。

がん死亡数のおよそ

5人に1人

肺 75,569人



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」
(厚生労働省人口動態統計)

／夏にも腸活！／

非常に厳しい
夏の暑さ…
夏バテ
していませんか？

この暑い夏を元気に乗り切るためにはどうすれば良いのか？

それは腸活！

夏バテしないためにもやっぱり腸活です。

夏バテは腸の調子とも深く関わっており、どうしても冷たい食べ物や飲み物を摂取する機会が増える夏場、腸は冷え自律神経が乱れ血流が悪くなり、それにより蠕動運動も低下してしまいます。腸内は悪玉菌が優位になってしまい、下痢や便秘を起こしがちになり消化吸収にも影響が出てきます。

管理栄養士 森田 秀之

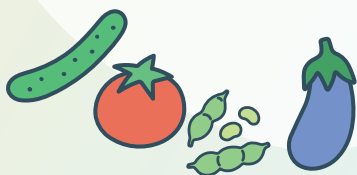
POINT
1

ではどうするか？夏の腸活ポイントです。

温または常で！

夏野菜（オクラ・なす・枝豆・冬瓜・ピーマンなど）も加熱して摂取しましょう！蒸し料理やスープがおすすめです！トマト、きゅうりは常温で摂取してみましょう。

飲み物も同様。冷たいコーヒーや嗜好飲料ばかり飲みがちですが、常温か温めて飲むようにして体の負担を軽くしましょう！



POINT
2

発酵食品も
組み合わせて！

納豆・ヨーグルト・味噌（過剰摂取ダメ）も夏野菜と一緒に摂取しましょう。

夏バテ予防には腸を元気に保つことが不可欠です。

！こまめに腸活を！
以上を参考に元気に夏を乗り切りましょう！

稲荷山武田病院

〒612-0801 京都市伏見区深草正覚町 27 番地 TEL：075-541-3371（代表）

理念

基本方針

患者さんの人権・尊厳を守れる、安全で優しい医療・看護・ケアを提供します。

1. 地域に開かれた病院として、皆様の目線に立ち、社会の要求に応えられる病院を目指します。
2. 信頼される病院として、皆様一人ひとりの意思を尊重し、安全で医療接遇の行き届いた医療を行うよう努めます。
3. 医療機関との連携を深め、チーム医療を提供します。
4. 働きやすい職場環境を作り、人間性豊かな医療を実践できる医療人を育成します。

夏号：2026.08.01